

各位

リックソフト株式会社
代表取締役 大貫 浩
(コード番号：4429、東証マザーズ)

リックソフト グローバルで高まるクラウド需要に応えプロジェクト管理ツール WBS Gantt-Chart for Jira の Jira Software Cloud 向けベータ版をリリース

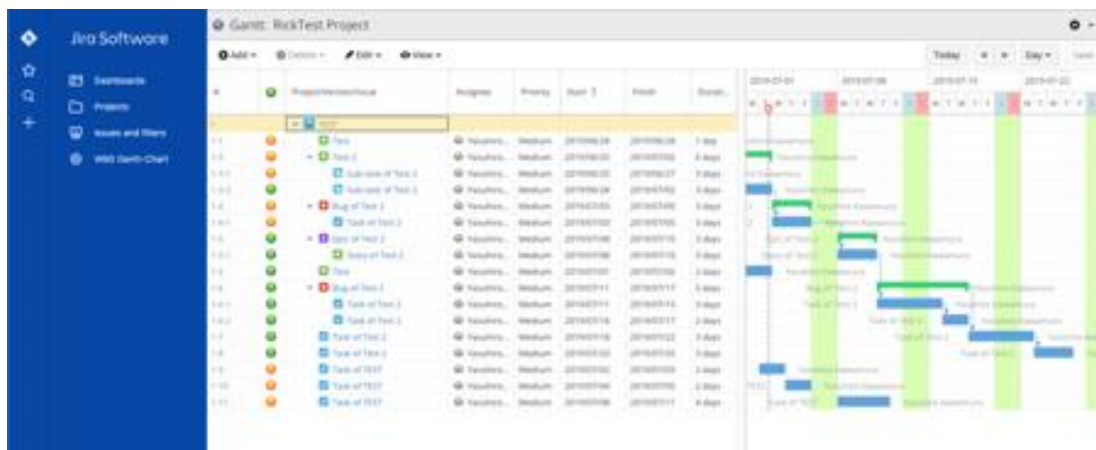
リックソフト株式会社(本社：東京都千代田区、代表取締役：大貫 浩、以下 リックソフト)は、豪ソフトウェア企業 Atlassian Pty Ltd.(以下、アトラシアン社) が開発・提供するクラウドサービス『Jira Software Cloud』の対応アプリとして、かねてより開発に取り組んできたプロジェクト管理アプリ『WBS Gantt-Chart for Jira Cloud』のベータ版を、アトラシアンマーケットプレイス上でリリースしたことを2019年7月17日に発表します。このベータ版のリリースにより、グローバルで急速に高まっているクラウド需要に応え、ユーザーからのフィードバックを募り、機能改善を行い、正式版のリリースを目指します。

1.概要

リックソフトは、チームの協働を支援するソフトウェアを提供しているアトラシアン社のプラチナソリューションパートナーとして、同社製品のライセンス販売や導入支援サービスを展開しています。さらに、自社アプリの開発にも力を入れており、すでにリリース済みのプロジェクト管理ツール『WBS Gantt-Chart for Jira (サーバー版)』は、世界中で1,000社以上が導入している主力製品のひとつです。

近年、グローバルではデジタルトランスフォーメーションの影響も受け、よりスピーディーにイテレーションを繰り返すことで開発サイクルを回していくアジャイルという考え方が主流になりつつあります。しかしこのようなトレンドに反し、従来のウォーターフォール型での管理が適しているプロジェクトや業務もあるのが事実です。そこで、アジャイルなソフトウェア開発チームで最も支持されているプロジェクト管理ツール「Jira Software」にウォーターフォール型でのプロジェクト管理を可能にするアプリ『WBS Gantt-Chart for Jira』を組み合わせ、アジャイルとウォーターフォールの両方、もしくは一方を選択できるハイブリッドな開発を実現させることに成功しました。ユーザーはプロジェクトや業務の種類や要件によって最適な手法を選択、または組み合わせを行い、開発プロセスの効率を向上させることができます。

2.WBS Gantt-Chart for Jira Cloud について



今回発表する『WBS Gantt-Chart for Jira Cloud』とは、アトラシアン社が提供するアジャイル型開発のためのクラウドサービス『Jira Software Cloud』にウォーターフォール型開発のプロジェクト管理機能を追加するアプリです。

『WBS Gantt-Chart for Jira Cloud』のベータ版では、現時点で、課題の階層表示、依存関係の可視化、リソース管理など『WBS Gantt-Chart for Jira（サーバー版）』で人気の高い機能を兼ね揃えています。

（ベータ版制約事項として、対応言語は英語のみ、サポートは提供しておらず、WBS Gantt-Chart for Jira（サーバー版）とは機能が一部異なります。）

3. 今後の展開

リックソフトでは、世界中のユーザーから要望が多かった『WBS Gantt-Chart for Jira』の Jira Software Cloud 対応を正式リリースさせ、日本発のアプリによって世界中のユーザーがプロジェクト管理の効率化を実現できることを期待しています。

また、急激に利用ユーザー数が増加している『Jira Software Cloud』を強化するというアトラシアン社の方針に沿い、リックソフトもグローバルなクラウド需要と『Jira Software Cloud』への対応を本格化していきます。今後も「メイドインジャパンのツール」を世界中のお客様に使っていただき、お客様の価値向上に貢献していきます。

<本リリースに関するお問い合わせ先>

リックソフト株式会社 マーケティングチーム プレスリリース担当

電話：03-6262-3947

メール：mkt@ricksoft.jp

<登録商標について>

記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標、または商標です。

用語集

用語	説明
アジャイル型開発	アジャイル開発とは、変化の激しいビジネス環境において、変化に素早く対応するための開発技法として注目されるようになりました。反復（イテレーション）と呼ばれる短い開発期間単位を採用することで、リスクを最小化しようとする開発手法の一つです。
ウォーターフォール型開発	ウォーターフォール開発は、企画／設計／実装／テストなどの工程に分割して開発を進める手法です。 各工程ごとに成果物や内容をチェックしてから進めることができるため、責任や役割、成果物を明確に定義することができます。その反面、急激な変化に対応しづらく開発期間も長くなってしまいう傾向があります。
アトラシアンマーケットプレイス	アトラシアン社が運営するアトラシアン製品に機能追加する公式なアプリを世界中に販売するための電子商取引を行うサイトです。 類似サイトには、Apple 社が運営する App Store、Google が運営する Google Play ストア、Amazon Web Services が運営する AWS Marketplace などがあります。
イテレーション	アジャイル型開発における、短い間隔で反復しながら行われる開発サイクルのこと。設計・試験・調査・改善という一連の工程で構成され、内在するリスクや問題点を短いサイクルで発見・改善しながら開発を進められるという利点がある。
デジタルトランスフォーメーション	デジタルテクノロジーを駆使して、経営の在り方やビジネスプロセスを再構築すること。